



始業式から・・・

○エアコン、大変有難い！！感謝です。

体育館での始業式では、外は朝から大変な暑さなのに、涼しい顔で行うことができました。

そのせいではありませんが、ついつい話が長くなるのは、私の反省すべきところです。

メインでお話したことは、戦後80年の記事についてです。子どもたちにニュースや映画など見たかと問うと、高学年よりは低学年の方が見ていたようです。子ども向けの映画もありましたので納得しました。

さて私はと言いますと、戦争関連のたくさんある新聞記事の中から一つ紹介しました。記事になったご夫婦は今もご存命で、お二人とも爆心地から2kmほどの場所で被爆されました。その後お二人は結婚され、広島から東京へ引っ越されました。妻は差別を恐れて被爆したことを一切言わず、そうして10年が経った頃のこと。原爆の番組を見ている時、普段明るい夫が「思い出したくない！」と声を上げて泣いたのだそうです。振り返ると、被爆したときのことは一切話すことが無かったようで、同じ被爆者として夫のことは理解しているつもりだったが、これだけ傷ついていたのかと改めて思わされたようでした。

結婚して60年経った今も、そのことだけは話したくないようで、被爆したときに目にした惨状を言葉にできない心の傷として、ずっと持ち続けておられるのです。

原爆を体験した方々がお亡くなりになられていく中、ようやく口に出せるようになった方もいらっしゃるれば、まだその地獄の中から心が開放されないままの方もいらっしゃる。

2学期には行事がたくさんあります。普段と違う取り組みは、子どもの様々な顔を覗くことができます。先程の話を重ねると本当の意味で人が分かり合えることは少ないのかもしれないけれど、分かろうと言葉を重ねて付き合っていくことはできるのではと思っています。言葉で自分の気持ちを伝えていくことの大切さをお話したかったのですが、ちょっと難しかったかもしれません。

○2・4年に転入生が来られたので紹介しました。早く慣れてくれることを願っています。

○お休みされていた稲田友香(いなだゆか)先生が8月1日より復帰されました。くれよんの先生として指導してもらいます。その代わりに、今尾嵩人先生は他校へ異動されています。

授業風景より・・・

○わたしも映画監督??

・あるクラスで、図工の作品を作成していたのですが、待ち時間に写真のようなことをしていました。右写真、タブレット画面の右下の赤いボタンを押すと写真を撮影し、左下の緑ボタンを押すと再生されます。簡単な動画が撮れる仕組みです。赤ボタンを押して適当にタブレットを動かすだけでも、再生してみると十分楽しめる映像となるのですが、更に追究して、コマ送りを連続撮影で撮り、物が動く仕組みを楽しみ始めている子どももいました。「もっと、こうしてみたらどうなるんやろ?」と自分の思い通りにならなければ作り直しながらも、チャレンジを繰り返す姿は、元々持っている子どもらしさとともに、今求められている力なのではと、微笑ましく見せてもらいました。

